

07

HIGASHI COMPASS

junior high school

2025年
7月18日

心を耕す時間

校長 林 武宏

合唱コンクールから幕を開けた7月の学校でした。秋に実施されることの多い合唱祭ですが、この中学校では1学期末に実施しています。これにはいくつかの理由がもちろんあるのですが、学級や学年の結びつきを深める行事を1学期に置きたいということも大きな理由の一つです。新しい年度のスタートの学期に、球技大会や合唱コンクールという行事があることで、それぞれが自分の所属する集団に対する帰属意識が高まり、クラスでの安心感につながると考えます。合唱のレベルということだけを取り出せば、もしかしたら秋に実施すればさらに質の高い合唱となるのかもしれませんが、私どもはこの7月でも質の高い合唱まで仕上げられると考えています。それは子どもたちの力を信じているからです。

当日、平日実施にも関わらず、大変多くの保護者の皆様の来場をいただきました。本当にありがとうございました。行事が終わるたびにいただく保護者の皆様の感想にはすべて目を通させていただいています。その中には、審査の難しさを書かれた方もおられました。1年生のさわやかさ、2年生のハーモニー、3年生の圧巻の表現力。どの合唱も心に響き、甲乙つけがたく、すべてに1位をあげたい。まさにそのとおりだと思います。ただ、それでも聴いていただいた皆様からの審査ということが、大切なのです。昨年度のヒガシコンパスでも文化活動について書きましたが、自分の表現を受けとめる誰かのために準備をすることは、生徒にとっても大変に意味のある機会です。その曲が生まれた背景を理解し、どんなメッセージが込められた曲なのかを考察し、それをどう表現すれば聴いている方に届けられるのか。指揮者生徒と伴奏生徒、また各パートリーダーが、そうした表現力を高めようとするのは、やはり本番に聴いてくださる方がいて、そして、さらに審査をしていただけるからこそなのです。多くの方にメッセージを届けたい、それがよい原動力になっています。来年度以降もまた審査をお願いすることになると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

また、今回は合唱曲の発表後に、吹奏楽部の演奏に加えて、3年生保護者の方による特別演奏の機会もありました。吹奏楽部は運動部とちがい、なかなか普段の練習の成果を試す場がありませんが、この合唱コンクールの舞台は大切な発表の場です。ノリノリの発表に客席も一体となり、大いに盛り上がりました。吹奏楽部生徒にとっても、これからの練習に向かうよい機会となりました。そして、特別演奏。頑張っている生徒たちのために力になりたいと、音楽科の教員経由でいただいた演奏のご提案に、一も二もなく賛成をして本当によかったと思われた、本番の素晴らしい演奏でした。心が洗われる、素敵な演奏に、感動のひとときを過ごさせていただきました。本物にふれる、一流のものにふれるというのは、やはり文化活動においてとても大切なことです。心のこもった合唱や演奏にふれ、音楽のもつ力を再認識するとともに、子どもたちの心を耕してくれたと感じる一日でした。私はいまだに時折、その余韻に浸っています。

さて、12月には、『オーケストラ鑑賞教室』を予定しています。「新日本フィルハーモニー交響楽団」の公演を鑑賞します。今回の公演では、雅楽演奏団体「伶楽舎」、そしてズーラシアンブラスのサキソフォックスとコラボレーションしたプログラムも予定されているとのこと。場所は、新日本フィルの本拠地である「すみだトリニティホール」です。貸切バスでの全校での移動となります。芸術文化にふれる体験が、子どもたちの心を耕して、そしてより豊かにしてくれることと思います。詳細は、2学期になりましたら、お伝えしていきます。

それぞれの夏休み。意味のある夏休みであることを願っています。保護者の皆様にはお子さんと過ごす時間の多い日々となります。ただ暑いというだけでイライラしやすい夏ですが、心はクールダウンして、成長をじっくりと見守る夏としてください。



合唱コンクール

音楽科の先生から 各クラスへのコメント



優勝 3年B組



準優勝 3年A組



特別賞 3年CDE組



1A	「空は今」 音程の跳躍が多く、メロディを美しく歌うのが難しい曲ですが、よく頑張って取り組みましたね。素敵な歌声でした。ここから声量が伸びていくとさらに素晴らしい演奏になるでしょう。
1B	「ほらね、」 一つひとつの歌詞を丁寧に伝えようという意思が伝わってくる演奏でした。1年生ながら声量も良く出ていましたね。授業で言われたこと、クラスで考えたことをよく意識していました。
1CDE	「Tomorrow」 初めての合唱コンクールながら、とても堂々とした演奏でした。皆さんの明るい歌声に、心が癒されました。たくさん練習してきた成果が存分に発揮できたのではないのでしょうか。
2A	「ヒカリ」 場面の変化が激しく、非常にドラマのある難曲ですが、しっかり表現の違いが感じられる素晴らしい演奏でした。歌声も昨年からますますパワーアップしましたね。随所に工夫している部分が見られました。
2B	「だれのものでもない今を」 歌詞を大切に伝えたいとの意気込みがありましたが、その通りに言葉がよく伝わってきました。歌詞に併せて表現もしっかりと見えていました。クラスでよく考えて練られたものと思います。
2CDE	「Let 's search for Tomorrow」 明るく澄んだ、とても美しい歌声でした。特に歌いだしの強弱の変化もはっきりと見え、たくさんの練習を重ねたことが感じられる演奏でした。来年が、非常に楽しみです。
3A	「証」 繊細さと力強さを使い分け、激しい感情の揺れ動きを見事に表現していましたね。まさに一丸となって創り上げられた感動的な演奏でした。皆さんがこの曲に込めた思いの強さが伝わってきました。
3B	「走る川」 強弱の幅を活かした、表現豊かな演奏でした。曲全体の構造をよく意識して表現をつくっていったことが伺えます。多様で複雑に交わっていく川の流れが目の前に見えるようでした。
3CDE	「輝くために」 これまで積み重ねてきた中学校での思い出、その全てが込められた皆さんの演奏は、多くの人たちに感動を届けたことと思います。3年生らしい、堂々とした素晴らしい演奏でした。

指揮者賞 3年 沖山さん

伴奏者賞 3年 伊藤さん



外部講演(AB) ニュース・リテラシー

本校では、毎年、外部より講師をお招きして講演会を開催しています。一昨年、昨年に引き続き、読売新聞教育ネットワーク事務局アドバイザー、NIE企画デザイナーの田中孝宏氏をお招きして、ニュースリテラシーをテーマにご講演いただきました。そもそも「ニュース」と「情報」はどのように異なるのか。また、その特徴を踏まえた「ニュース」との関わり方についてお話をいただきました。生徒たちは、情報の真偽の判断が難しい今の社会において、「ニュース」を一次情報として扱うこと。そして「ニュース」の中にあるメディアの提言に意図を感じ、それについて自身の意見を持つことが、「ニュース・リテラシー」に繋がることを学んだようです。

以下、生徒たちの感想です。

- ・ニュースと情報の違い、ニュースが流れている時に、アテンションエコノミーが裏でまわっていること、多くの情報が行き交うニュースをみる中でのメディアのあるべき姿などを知ることができました。メディアや情報は私たちに多くの影響を与えています。私たちがメディアからの情報をどう捉えて使うのかが鍵になると感じました。
- ・3年目の講演会ですが、毎回新しい発見がたくさんあります。情報より、新聞などのニュースの方が正確さがあり、信頼できますが、その中でも各会社には軸となる考え方があるので、偏った見方になる場合があります。この思考が進むと戦時下のような、メディアから世論を作り出す世界が生まれてしまうのだと思いました。教えて頂いたアルゴリズムのように特定の情報だけでなく、世の中の多くの事に興味をもち視点を広げていきたいです。

防犯教室(AB)

7月11日に東京都生活文化スポーツ局都民安全推進部の方を招いて「SNSによるトラブルの実態やその防止策」をテーマに防犯教室を行いました。昨今、SNSによる誹謗中傷によって中高生が命を落としてしまうケースも見られますが、講演後の生徒の感想文の中に『「指殺人」という言葉を初めて知って、スマホの操作で簡単に人を傷つけてしまうほど言葉は恐ろしいものだ改めて分かりました。』というものがあり、生徒たちも自分たちにも起こりうることと捉え講演を真剣に聴いていたことがうかがえました。また闇バイトの動画もあり、「射幸心」という言葉を用いて努力や苦勞をすることなく利益や成功だけを願うと自身が被害に巻き込まれてしまうという話があり、その危険性を実感できたようです。スマートフォンは便利である一方で、自己責任のもとに使用するものです。法律やマナーはもちろん、家族で決めたルールなど身近な約束も大切にしながら安全に使用してほしいと思います。





合同合宿 (CDE)



7月9日～11日にかけて山梨県山中湖畔にて合同合宿を実施しました。2日目夜に雨が降りましたが、主な活動中は天候に恵まれ、予定通りに行うことができました。1～3年生が揃って宿泊を伴う校外学習を行うのは、実に15年以上前に遡ります。今回の合宿は初めて訪れる場所ばかりでしたが、非常に興味深い多彩な体験ができ、去年までのチロル学園合宿以上の充実感を味わうことができました。

1日目

1日目は、学年ごとそれぞれ違う牧場にご協力いただき、酪農体験をしてきました。乳牛からの搾乳に始まり、えさやり、バターづくりを体験し、楽しみながらも酪農家の方々のご苦労や命の尊さを学ぶことができました。乳牛の大きさ、可愛さも大いに感じていた様子です。酪農体験が終わった後、宿舎であるグリーンヒルズニューみなみへ。温泉もあり、部屋から富士山も見える好立地で、心地よく過ごすことができる宿でした。



2日目

2日目は、午前中は宿舎から近いDALLAS VILLAGEという作業体験ができる施設に行き、2つの作業体験を行いました。一つはマグカップに自分で考えたデザインのもとでシールを貼り付けて様々な模様を施す作業。もう一つはソーラー電池で点くランタンの周りに色付けをする作業（一部の希望生徒はオリジナルのガラスキーホルダーづくり）でした。どちらの作業もよく集中して取り組んでいる生徒が多かったです。作品は2～3週間後に学校へ届きますので、夏休み後のお渡しになります。

午後は3学年縦割りの班対抗でのレクリエーション大会。3年生がリーダーシップを取って班のメンバーをとりまとめながら、学年を越えたコミュニケーションが図られ、今までにはない楽しさ・盛り上がりを見せました。そして夕食は生徒お待ちかねのBBQ。皆で夜に屋外で食事をとるといつもと違う雰囲気の中、焼きたてのお肉や焼きそばをお腹いっぱい味わいました。



合同合宿(CDE)

3日目



3日目は、お世話になった宿舎を後にし、山梨県立富士山世界遺産センターへ見学に行きました。見学は縦割り班ごとに行いました。2日目のレク大会を通して、縦割り班のコミュニケーションは、十分に図られており、普段の学校生活と異なり、交友の幅が縦に広がる見学体験でもありました。富士山についての様々な知識が深まったと思います。見学後は富士山五合目にあるレストハウスへ移動し、山梨名物のほうとう鍋を食べました。残念ながら曇っていて雄大な景色を見ることはできませんでしたが、非常に多くの外国人が訪れていて、富士山は日本が世界に誇る山なのだと認識できたのではないかと思います。昼食後は鉄道ファンの生徒にとっては最大のイベント、リニア見学センターへ。リニアモーターカーが見学中に走るかどうかは完全に時の運ということで淡い期待でいましたが、なんと奇跡的に見学終了間際に走行する瞬間を見ることができました。これは生徒たちの日頃の頑張りがもたらした恩恵だと感じています。

3日間、様々な体験を通した学びだけではなく、縦割り活動を通して3年生は最上級生としての自覚を強くし、2年生はその3年生を見て、来年は自分たちがその立場になるんだという責任感を抱き、1年生は先輩たちの立ち居振る舞いを見て中学生らしさを考える、そんな意義も深められた校外学習となりました。



図書室より



図書室は今年度も、昼休みの開室と、テスト2週間前から放課後の自習目的としての開室を行っています。昨年度から改修工事やテラスを新設したことにより、憩いの場を求めて図書室にやってくる生徒が増えたように思います。また、学校生活推進委員会の図書グループの生徒や自らボランティアで手伝ってくれる生徒が昼休みに集まり、書架整理をしたり、新着図書の検品作業をしたりして、力になってくれました。自分たちで学校を支えていこうとする気持ちが感じられ、頼もしく思います。

ただ、本の貸出数としては、今年度は減少傾向にあり、課題を感じているところです。行事や部活、テスト勉強等で忙しい毎日を送っている中ですが、子どもから大人への過渡期である今の時期に、様々な知識や考え、物語に触れることはとても大切なことだと思います。本に対する興味を持ち、図書室で本を借りたいと思えるような、またそういった行動に移しやすい環境づくりを、2学期以降に委員会等を通して行ってきたいと考えています。

時間にゆとりのある夏休みは、読書を進める絶好のチャンスです。生活リズムを整え、メリハリのある日々を心掛けることに加え、様々な本との出会いを期待したいです。

(司書教諭)



— 夏休みの生活について —

夏休み中は、事故に注意することはもちろん、生徒同士の外出の際には、一緒に行く友だち、行先や帰宅時間の確認、金銭の管理についてはしっかりとご指導ください。

また、子どもたちがインターネットやSNSを利用する時間が増える時期となりました。最近の犯罪傾向として、SNSを通じたトラブル、とりわけ「闇バイト」の勧誘が深刻な問題となっております。

SNS上の求人広告や「高収入」「簡単に稼げる」といった甘い言葉に誘われ、個人情報を提供した結果、違法な行為に関わってしまうケースが中高生の間でも増加しています。中には、依頼を断ろうとしたところ、脅迫やつきまといに発展し、やむを得ず加担してしまう事例も報告されています。こうした被害を未然に防ぐためにも、ご家庭におかれましては、フィルタリングの設定、インターネット利用時間の制限、SNS使用に関する家庭内ルールの徹底などのご対応をお願いいたします。

保健室より

今年は、梅雨の時期が殆どなくあっという間に暑さがやってきました。夏休みは生活リズムを崩さないようにしましょう。生活リズムは、日中に光を浴び、身体を動かし、夜間の照明は明るくしすぎず、少し暗いぐらいにしておくといいです。こうした行動によって、夜間に眠りを促すホルモンが分泌され、夜はぐっすり眠れ、朝はしっかりと起きることができます。入眠前の携帯電話の使用は、入眠の妨げにもなるので避けるようにしましょう。

睡眠は、思春期の心身に不可欠な休養活動で、健康と成長を支える役割がたくさんあります。睡眠不足になると、イライラした気持ちや不安を感じやすくなったり、腹痛などの体調不良が現れたりします。睡眠の意味をよく理解し、規則正しい生活を意識しましょう。

規則正しい生活リズムは、2学期を迎えるためにも重要になります。夏休み中も意識をしてください。

例年心配されるのが「熱中症」です。気温が高い等の環境要因でなる状況もちろんありますが、自身の身体の状態によっては、熱中症になりやすくなることも数多くあります。要因としては、寝不足、朝食を摂っていない、運動・活動前の水分補給をしていない、暑さに慣れていない、本調子でない等です。その場合には、無理をせずにしっかり休養を取る。また、暑さに慣れていない・体力に自信がない等があれば、涼しい時間帯に体を動かす事から始めても良いです。体調が悪い場合には、すぐに先生に伝えてください。

<熱中症にならないためのポイント>

- ① 活動前に、自身の体調の確認を行う。体調が悪い場合は、先生に伝える。
- ② 運動・活動前に200～250mlの水分補給を行う。※水分は、麦茶・スポーツドリンクが有効
- ③ 休憩中は、涼しい所に移動し、水分を取る。また、首、腋下、股関節付け根等大きな動脈が通っている部分を冷やす。

※喉が渇いてからでは遅いので、10～15分に1回意識的な水分補給を自分で行う。

- ④運動後の水分補給も必ず行う。

(養護教諭)



自動販売機で販売中↑



6月後半、7月前半の部活動試合結果

陸上競技部

- 第49回江東区陸上競技選手権大会 (6/29 夢の島陸上競技場)

3年 島田さん	走幅跳	6m16	優勝
2年 長谷川さん	走幅跳	5m11	優勝
2年 山本さん	円盤投	24m86	優勝
3年 高橋さん	走幅跳	4m82	2位

卓球部

- 令和7年度第10ブロック夏季卓球大会 (6/29 小金井一中)
男子団体A、女子団体Aともに親善試合のため勝ち上がりなし

陸上競技部

- 第77回東京都中学校陸上競技選手権大会(7/12,13 上柚木陸上競技場)

3年 越智さん	共通円盤投	26m33	4位入賞
3年 島田さん	共通走幅跳	6m35	5位入賞
2年 長谷川さん	共通走幅跳	5m22	4位入賞
2年 山本さん	共通円盤投	26m28	5位入賞
共通4×100mR (川添さん・長谷川さん・高橋さん・山本さん)			
52.57 (16位)			

